

令和6年度(令和5年度実績) 総合評価書 <施設名:中央児童館>

1 指定管理者名	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
2 指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日(5年間)
3 業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関すること。 2 児童館の維持管理に関すること。 3 目的外使用許可にかかる事務に関すること。 4 児童館運営委員会の設置、運営管理に関すること。 5 事業評価に関すること。

4 採点表											
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点	
1	運営・利用 状況(40点)	(1)利用状況(10 点)	①施設の利用率 (利用時間/日数 ×営業時間)	10	平均値比(注) 105%以上:10点、 105%未満～95%:8点、 95%未満～85%:6点、 85%未満:4～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値 (例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値		開館時間中(10:00～18:00)は自由来館としている。		-	
		(1)利用状況(10 点)	②利用人数			平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値 (例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	105%以上 5点	・乳幼児クラブ、小学生クラブの参加者が増えた事と、降園後の園児親子の利用が増えた事により、前年度に比べ来館者数が増えた。 【5年度】来館者数 8,433人 乳幼児:2,735人、小学生:2,842人、中高生:108人、大人:2,748人 【4年度】来館者数 8,220人 乳幼児:2,495人、小学生:2,773人、中高生:106人、大人:2,846人 【3年度】来館者数 4,630人 乳幼児:1,525人、小学生:1,440人、中高生:127人、大人:1,538人 (参考)コロナ前である令和元年度との比較 ・R5:8433÷R1:7734≒109%		10点	
						平均値比(上記(2)適用) 131%≒利用人数(延べ人数 8,433人)÷6,425人					
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況 (仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点、 仕様書に忠実:11～9点、 仕様書の一部不実施 (軽微):8～7点、 仕様書の一部不実施 (中程度):6～3点、 それ以下:2～0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計48回開催、延べ710名参加) ・児童を対象とした事業(計94回開催、延べ980名参加) ・地域交流多世代間交流事業(計3回開催、延べ216名参加) ・中高生事業(計10回開催、延べ41名参加) ・子育て相談と子育てネットワークづくりの推進(計59回開催、延べ388名参加) ※別紙:事業評価表 参照	仕様書以上 13点	・コロナでの制限が緩和される中、保健センター等関係機関と連携、工夫して試食有の食育事業を実施した。 ・イベントでは、アルコール消毒を各箇所に配置し、使い捨て手袋の使用など衛生管理を徹底したことで、利用者も安心して参加ができ、イベント参加者も定着している。 ・じどうかんまつりでは衛生管理を徹底し飲食を伴う以前の形に戻し、多くの参加があった。		13点	
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、 内容・事業数等が例年通り:11～9点、 内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、 内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、 内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計51回開催、延べ639名参加) ・児童を対象とした事業(計49回開催、延べ438名参加) ・地域交流多世代間交流事業(計33回開催、延べ612名参加) ・中高生事業(計19回開催、延べ62名参加) ・子育て相談と子育てネットワークづくりの推進(計13回開催、延べ130名参加) ※別紙:事業評価表 参照	期待以上 13点	・様々な地域イベントにおいて、乳幼児親子や小学生を対象に人気事業をブラッシュアップして実施した。 ・多世代間交流として、体を動かして遊べる事業を企画し実施した。 ・祖父母支援に特化した事業を企画し実施した。 ・中高生利用の増加に向け、試行錯誤しながら工夫して取り組んでいる。 ・母親同士のコミュニティを広げる為のネットワークづくりにおいて、積極的に事業展開することできっかけ作りに注力した。		13点	

評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
2	施設管理 状況(25点)	(1)施設管理業務 の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、 適正(普通):6点、 一部不備あり:4点、 不備あり:2点	屋内・トイレの清掃:毎日 備品の清掃:週1～2回 ガラス・照明器具の清掃:随時 館庭の清掃:週2～3回等の定期清掃、日常清掃を実施。 駐車場を含め、児童館周辺の側道まで、細目に様子を見て清掃。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
			②保守・点検			電気工作物、運動遊具の保守点検は委託により実施。パソコンは随時点検。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③保安・警備			非常通報装置・消防用設備、セキュリティについては、警備会社に委託により実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④小規模修繕			遊戯室ガラス交換(51,150円) 輪転機保守契約代(29,700円) 10万円未満の為仕様書の定めにより指定管理者の負担で修繕	適正(普通) 2点	修繕箇所が発生した際は、遅滞なく対応がなされている。	
			⑤危険箇所の把握 (施設の瑕疵)			毎月の定期点検により危険箇所の有無について確認。 道路に面している2箇所に「飛び出し注意」看板を取り付け。 館内にハザードマップを掲示。 館庭のアルミ看板の劣化によるガタつきを修繕。 館庭の老木に注意看板取付。 気づいた時に随時「ヒヤリハット報告書」を作成し、職員間で周知している。	適正(普通) 2点	日常の業務の中で、危険箇所を把握し、適正に対応されている。	
		(2)その他管理業務 の実施状況(15点)	①文書管理	10	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、 適正(普通):2点、 一部不備あり:1点、 不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	文書目録を作成し、重要書類はすべて鍵のついたスチール棚に保管。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
			②環境への配慮			「節電・節水に努める」 利用者のいる部屋のみ照明をつける、使用していない電化製品のプラグは抜く、冷房の設定温度を28度に設定し、施設の南と東側にミストを取り付ける。夏は高窓を開け風通しを良くし、冬は床にマットをひくなど、季節に合わせた環境設定でエネルギーの浪費を抑えている。 「廃材や消耗品の再利用」 紙はリサイクル紙を利用。関係機関への連絡はメールを利用。 乳幼児クラブや児童の工作材料を、牛乳パックやトレイ、ペットボトル等を利用し、各家庭でも実践できるよう保護者へ提案している。寄付で頂いた絵本やおもちゃ等は安全に使用できるかを判断し、児童館で積極的に活用している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③バリアフリー			和室の引き戸に指詰め防止の為クッション材を取りつけている。入り口や廊下に物を置かないようにし、スペースを確保。洋式トイレに幼児用便座を設置、アルコール噴霧器は小さな子どもでも利用できるよう高さを調節している。廊下の角やラックの突起に、衝突防止用のクッションを取り付けている。玄関入口のドアは、安全に利用できるよう開閉速度を調節している。児童館の場所が分かりづらいとの声を受け、事業で制作した工事用囲い看板を引き取り道路から見やすい位置に設置している。 館庭からすぐに見える位置に開館の掲示をしている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④備品管理			備品台帳の原本は子ども支援課で保管。コピーを適正に管理している。年1回照合。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑤個人情報保護			労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団として『個人情報保護規定』を作成し、情報は施錠保管のうえ管理している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする (事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、 事故等対応に不備あり:△1点)	事故無し。	事故なし・対応に不備なし 0点	適切な対応が行われているとともに、速やかに報告がなされている。	0点
3	当該施設の経営状況 (-点)	①事業収支		施設の特性から評価対象外の項目	収入 11,457,775円 ÷ 支出 11,569,959円 ≒ 99% 収支状況が必ずしも管理運営状況を反映するのではないため、評価対象外とする。(令和3年度から)				

評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
4	より良い施設運営のための取組(35点)	(1)市民・利用者の声の反映(20点)	①ニーズの把握・事業への反映	15	期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	・入口の分かりやすい場所にご意見ポストを設置している。 ・日々の会話よりニーズ把握に努めている。みんなで一緒に体を動かして遊びたい。との要望を受け事業に取り入れた。 ・乳幼児クラブ終了時と行事開催後にアンケートを実施、積極的に感想・意見を聞く場を設けた。 ・事業後のアンケートで英語を取り入れて欲しいとの要望を受け、事業に取り入れた。季節を味わう行事に参加したいという保護者のニーズに応え、ハロウィンやクリスマス会、餅つき体験会、お正月遊び等の季節行事を実施し、好評だった為継続して実施している。また、地域まつりの減少により発表の機会が減った小学生クラブの子ども達のニーズから、他館との合同交流会やクラブ発表会を積極的に企画し実施している。 ・利用者が居ない時間の開閉館がわかりづらいとのご意見を頂き、遊戯室の見やすい位置に開館の看板を設置している。	期待以上 13点	・定期的なアンケートの実施や、利用者の意見を聞く機会を設け、事業に反映させている。 ・積極的に事業展開する中で、試行錯誤しながら得た意見や反省点を次につなげる姿勢がみられる。	13点	
			②苦情対応	5	期待以上:5点、 適正(普通):4点、 不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	特になし。	期待以上・苦情なし 5点	ワーカーズコープとして、苦情解決第三者委員を設置している。	5点	
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	・多治見市学習館との生涯学習コーディネーター事業では、これまでの繋がりを大切にし、公民館がない地域で公民館に変わる施設利用として中央児童館で実施できるよう連携している。 ・毎月のおたよりは、子ども達といっしょに作成している。タイトルや挿絵等、子ども達が季節を考え描いたものを使用し、児童館事業における積極的な児童参画を推進している。 ・市の一斉清掃にも積極的に参加し、周辺住民の方々と共に地域の清掃活動を実施した。また、市の花づくり運動助成事業に積極的に取り組み、館庭の整備、美化に努めると共に、子ども達と一緒にを行うことでボランティア活動へと繋げている。 ・施設管理に一番重要な人員確保の為に、常時勤務する以外の臨時有資格者を登録し、大きな事業や学校休業日・長期休暇中など来館者の多い場合や急な職員の欠勤に対応できるようにした。 ・労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団では、『全国子ども・子育てケアプロジェクト』を組織し、子育て・子育て・障がい児支援の大規模な研究交流を行っている。 毎月「全国子育てWEBミーティング」・5月23日「全国子ども子育てケアプロジェクト会議」・9月9日～10日「全国子育てフォーラム」(オンライン)・11月11,12日「実践交流集会」子育ての中で体験する事の重要性を実践報告と共に学習した。・年間全国規模の研究交流会を計8回開催。(オンライン)・東海事業本部においても「東海事業本部子育てPJ会議」毎月開催。(オンライン)・法人内児童館職員研修を毎月第2月曜日を基本に開催した。 ・下記他団体の研修会に参加し、未参加者へは伝達研修を行った。 【主催:岐阜県】9/2 木育フォローアップ研修 10/25,2/25ぎふ木育サポーター研修 飛騨五木株式会社【主催:岐阜県児童館連絡協議会】・11/9東濃ブロック研修会「表現活動…音楽」「音でコミュニケーション」～リズムにのって心も身体もはずみましょ～ 中部学院大学短期大学部 幼児教育学科教授 岡田泰子先生・「表現活動…造形」「自然は教えてくれる」～あそびは、生きる力～ 小規模保育ねっこ園施設長 浅野美香子先生・12/7東濃ブロック研修会「地域福祉活動」「児童センターの社会的役割と意義」中京学院大学 専任講師 全国こども福祉センター理事長 荒井和樹先生【共催:多治見市社会福祉協議会、ワーカーズコープ】・2/7合同研修会「現代の子どもたちの性について ーいのちの話ー」愛助産院 助産師 梅木美恵子先生【主催:多治見市消防署】・11/6火災図上訓練(FIG)	期待以上 13点	・公民館がない地域で、公民館に変わる施設としても事業を実施している。 ・地域行事への職員の参加や、地域や近隣の神社とのイベントにおいて、積極的な連携を行い、参加して楽しい事業の実施を心がけている。 ・子どもの成長とともに、児童館での子どもの役割も変えながら、ボランティア活動へも繋げている。	13点		
	5	その他(減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、 一部遅れ・不備あり(中程度):△2、 一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし。	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、 対応等が期待以下(軽微):△1、 対応等が期待以下(中程度):△2、 対応等が期待以下(それ以下):△3	指示は特になし。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施されている。	0点		
合計				100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				87点	
								全体的な評価 ・極めて良好な管理が行われている。 ・地元との連携を重視し、これまで培った土台を活かしながら新たな取組みにもチャレンジし、活性化につなげている。	極めて良好	